

起業活動事例を紹介します・・



餅つきでつくる地域のつながり

萩野もち加工利用組合 ふるさと工房

所在地：新庄市大字萩野字仁田山 2587-4

連絡先：0233-25-4771

F A X：0233-25-4770

組合長：松坂 英昭

組合員：8名（4夫婦）

セールスポイント(商品紹介など)

- ・ 堆肥による土づくりと低農薬により栽培したもち米と地域内で確保した小豆を赤飯に使用しています。
- ・ 「手づくり、無添加」にこだわった餅は「つららもち」の商標で広まっています。
- ・ 主な加工品：丸餅、切り餅、生餅、建前餅、鍋用しゃぶしゃぶ餅、大福、くぢら餅、蒸し羊羹、赤飯、五目おこわ など。



くぢら餅セット（2,500円）



餅詰合せセット（4,500円）

活動の特徴

- ・ 平成7年10月、米価の低迷を機に自分たちで生産したおいしい餅米(ヒメノモチ)に付加価値をつけ、冬期の仕事確保と周年農業の実現を目指して加工販売を始めました。
- ・ 平成8年からは新庄市内のスーパーや産直の販売のほか、イベントへの参加などを通じて売上を伸ばしています。また、少量の注文にも応じる小回りのきく対応が地域の信頼を得て、学校給食や各種催しにおける生餅の注文も増えています。
- ・ 地域の高齢者組織や児童館等の活動で、餅つきや餅の試食をボランティアで行なっています。

これからの抱負

今までの積み重ねを基に、現状維持で頑張っていけたらと思います。

執筆担当：最上総合支庁 産業経済部 農業技術普及課 0233-29-1331